消防団の車両・資機材の整備による効果的な消防活動の実施

3か年緊急対策　5か年加速化対策　国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概　　要：令和8年4月に岩手県大槌町（おおつちちょう）で発生した林野火災において、事前に配備した車両・資機材を活用し、消防団による効果的な消火活動等を実施することができた。

対 策 名：38 地域防災力の中核を担う消防団に関する対策＜5か年加速化対策＞【総務省】

■ 実施主体：総務省消防庁、大槌町消防団

■ 実施場所：岩手県上閉伊郡（かみへいぐん）大槌町（おおつちちょう）

■ 事業概要：激甚化・頻発化する自然災害に備え、消防団の災害対応能力を向上させるため、救助用資機材等を搭載した消防車両を無償で貸し付けることにより、実践的かつ効果的な訓練の強化を図っているほか、災害時における消防団の情報収集、消火・救助等の消防活動の充実を図るため、消防団設備整備費補助金を通じて、消防団への救助用資機材等の整備を促進している。

■ 事業費：116.8億円　※全国の事業費
- 3か年緊急対策（平成30年度から令和2年度）　48.0億円
- 5か年加速化対策（令和3年度から令和6年度）　68.8億円

■ 災害の外力、被害と効果：令和8年4月に岩手県大槌町において、林野被害約1,633ha（精査中）の大規模火災が発生した。大槌町消防団は、無償貸付された救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車や消防団設備整備費補助金により整備した資機材（高視認性活動服）を用いて、効果的な消火活動や残火処理活動等を実施した。

【大槌町林野火災における活動の様子】（岩手県大槌町提供）







高視認性活動服

※防火服の内側に高視認性活動服を着装して、消火活動に従事。



救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車

【無償貸付車両（例）】



【補助対象資機材（例）】

